

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

社会復帰に向けて

精神療養病棟での『デイケア体験』を導入し約2年半が経過しました。

当初“院外で社会復帰に必要な技能を体験する”という目的のもと社会復帰訓練を発足しましたが、同時期に新型コロナウイルス感染症の流行により院外活動を制限せざるを得なくなりました。そこで院外活動に代わり、院内で社会復帰に向けた新たなプログラムとして導入したのが『デイケア体験』です。

デイケア体験では入院患者さんが実際に当院のデイケア施設で日中を過ごし、調理を始めた社会生活技能を体験する場としています。

現在は2カ月に1回の頻度で実施していますが、毎回参加される方も多く、意欲・関心の高さを感じています。また、実際に退院された患者さんからは入院中に調理等を行えるのが良いとの意見も頂きました。

デイケア体験に参加し、社会生活技能そのものの向上に加え、対人交流を深めたり、お互いの意見を尊重し合うといった姿も多く見られるようになりました。また、回数を重ねることで患者さん自ら『社会で生活すること』『日々の困りごとに対処すること』を現実的に考えられるようになってきたとも思います。

コロナ感染症は未だ収束の気配がなく院外活動はまだ見通しが立たない状況が続いています。先行き不安なご時世ではありますが、今後も院内での活動を工夫し、患者さんの自律した生活や社会復帰の一助になるよう尽力していきたいと思えます。



山口県精神科病院協会研修会(オンライン)

毎年、この時期に山口県精神科病院協会の研修会が開催されております。今年はコロナ感染対策として、WEB配信による形となりました。

当院の会場では院長、事務部長、看護部長看護副部長に加え、作業療法士、事務員なども参加しました。配信スタイルも今年で2回目ですので、Web配信の準備や進行はスムーズに行えたと思います。今年の演題は全部で5題に加え、埼玉県にある山口病院の先生による特別講演が行われました。演題は「栄養を重視した精神科治療」で鉄欠乏性貧血が引き起こすうつ状態に対してミネラルやビタミンを適切に補充することによる精神安定などのお話がありました。栄養面から身体状態だけでなく、精神状態を考える視点が新鮮でした。全体としても他院の事例を学ぶことはあまりないため、今年も地域の精神科医療の向上に寄与できた研修会となりました。



研修を受けている様子

消火器訓練



9月29日(木)に、水消火器を使用した消火訓練を行いました。昨年は晴天だった為外での訓練は暑かったですが、今年曇天だった為、いくらか涼しい訓練となりました。

訓練では消火器の操作要領や注意事項、火災時の適切な使用方法の説明を防火管理者より受け、参加者全員が火に見立てた目標に向け、消火器を使用しました。

病院などの特定防火対象物では消火訓練、避難訓練は年2回、通報訓練は年1回以上の実施が義務付けられています。消火器についても設置場所や本数などがフロアごとに定められています。

山口県立防府高等学校 衛生看護専攻科の精神看護学実習開始

10月より、防府高校の看護実習が始まりました。最初の実習ははじめ式では、院長よりLGBTを例に挙げ多様化した時代の中で異常・正常の概念が変化していることのお話がありました。実習中において「人と何かと考えながら実習に臨んで頂きたい。感染対策を万全にして病棟に入るように」と最後に付け加えられました。



学生からは、精神障害者の症状を学ぶことはもちろん、日常生活にどのような影響があるのか、その人を尊重した関わりを学びたいとの決意を述べました。新型コロナウイルス感染の中、実習を引き受けて頂いたことに対する、感謝の言葉を付け加え、学生代表の挨拶を締めくくりました。

編集後記

10月に入り、少しずつ寒を感じるようになりました。柿があちこちで色づいているのが見えます。体調を崩しやすい時季ですが、皆さんはいかがお過ごしですか?冬の厳しい寒さに備え、しっかり準備をしていきましょう。